

タイトル『種』のキモ子

著者： 山田悠介

出版社： 文芸春秋

花をこよなく愛する女。彼女の母の再婚相手はろくでもない男だった。9歳のとき母が交通事故で死に、義父から邪魔者扱いされるようになった。そして、蔵の中に閉じ込められてしまう。それから19年間、蔵からは一度も出ることがなかった。

蔵に閉じ込められてから7年が経ったある日を境に、義父は家に帰ってこなくなった。飢えと渇き、暗闇に苦しみ続ける中、ある新月の夜に身体に起こった奇跡。それがすべての悲劇の始まりだった。舞い上がった種は、数々の悲劇を巻き起こしていく。



投稿日 2018年 11月 14日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

年齢

ねむたいと

14